

CENTER NEWS

2015.4



KG&ERc

No.344



目 次

風土改革～成果を生み出す原動力～ 佐藤 和志	1
2月 定例理事会	3
【シリーズ：表彰論文④】 中小企業人材確保推進事業コーナー	
兵庫県の地すべり調査事例 小山 純二	4
事業継続計画（BCP）策定支援制度 補助金・助成事業のページ	6
ご活用を検討されては如何ですか？ 補助金・助成事業のページ	8
行事・講習会・資格試験等のご案内	10
こんな時代だから、ちょっと心に残る良い話	11
編集後記	12

表紙説明

今月は JR 大阪駅周辺の様子をお届けいたします。

上段は 2010 年 12 月に撮ったものです。

中段・下段は 2015 年 3 月に撮影したものです。

再開発のビルが建ち、陰に隠れてしまったビルが分かります。

何の変哲もないような風景ですが、数年後はまた違うものが撮れそうです。

『撮影・文責：中山義久』



風土改革

～成果を生み出す原動力～

専務理事 佐藤 和志

平成26年度も前年度に引き続き好調を維持できました。組合員をはじめとする関係者の皆様に心からお礼と感謝を申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

“組合員に、業界に、社会に、なくてはならない存在になる！”これがセンターの使命です。この実現に向けて、まず「仕事は断らない・顧客には絶対に迷惑をかけない」ことを実践しています。今の成果は、皆さんの協力や受注環境に恵まれたことに加えて「風土改革」があったことも、大きな要因の一つだと考えています。

企業（事業協同組合であるセンターも含む）は事業を継続発展させていくため、常に成果の最大化に取り組んでいます。利益は成果の一つで、ドラッグは「利益がなければ、コストを賄うことも、リスクに備えることもできない。社会が必要とする財・サービスを提供できず、人を雇用することもできない。したがって、利益を上げることが企業にとっての第一の社会的責任である。」と述べています。企業が利益を増やすためには、「収益（受注）－費用＝利益」なので、①収益（売上げ）を上げる、②費用を減らす、の両方に取り組まなければなりません。

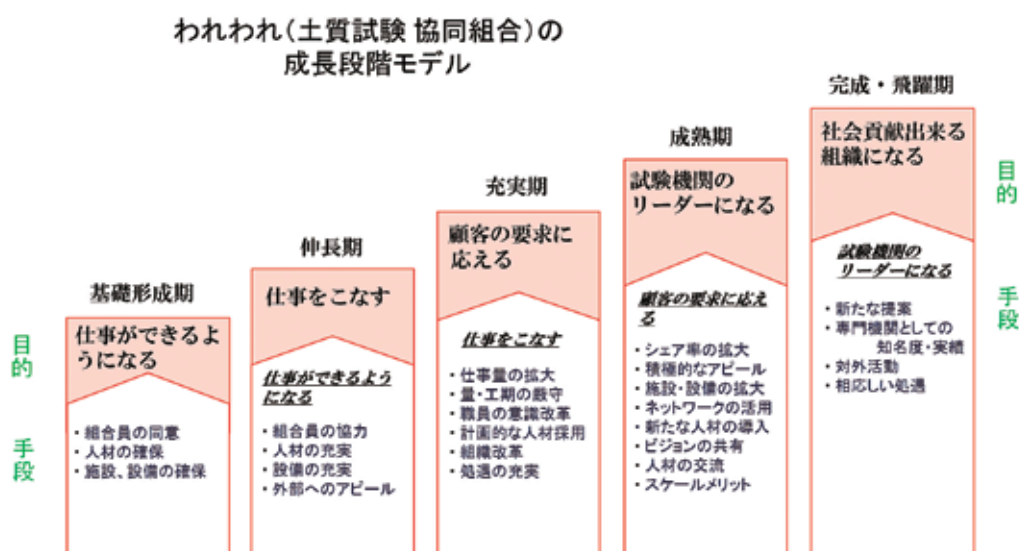
また、「商売の鉄則は、まず信用を得ること。売り上げや儲けは二の次。」、成果の最大化のためには「信用」が重要な要素である、とも言われます。偽装や法令違反のニュースが毎日のように報道され、長年築きあげてきた信用があつという間に崩壊して、苦境に立たされている企業や組織を見るにつけても、その重要性を再認識しています。そして、この無形の「信用」が「企業風土」から醸し出されるものではないかとの想いが強くなっています。

風土は、その中にいる者にとっては環境そのものであり、一体となっているためにほとんど意識されずに受け入れられています。中には、外部のものにとっては容易に理解できないこともあり、それが特性になっていることが多いようです。そして、「企業風土」は、企業などの組織が歴史と環境の中で形成してきた独特の価値観や行動様式であり、組織活動の推進力の一つです。組織によって違うのはもちろんですが、同じ組織でも部門や地域によって違います。したがって、経営にとっては大切なものであるとともに厄介なものになっています。最近、「企業風土」がマネジメントの対象になっていることがそれを示しています。大切なところは、この良し悪しが成果を左右し、業績に影響を与える重要な経営資源の一つであることです。一方、厄介なところは、時代とともに変わる外部環境に対応した変化が求められている時に、容易に変わることができずに阻害要因になることです。無意識のうちに形成されて環境の一部になっており、経営課題として具体化し難いためです。また、改革の推進役となる、経営層が最も意識できないことも要因の一つのようです。

私が着任した数年前のセンターは、リーマンショックや政権の不安定などで市場環境が悪化の一途をたどっており、いろいろな問題が顕在化して混乱を極めている時期でした。そんなセンターの活性化のために、この無形の「信用」を含めた「風土改革」に着手しました。親方日の丸でゆでガエル状態にあるメンバー全員が、常に「お客様」と「品質」を最優先にする風土の構築をめざしたのです。

活性化した組織とは、「組織本来の目的を組織成員が共有し、主体的・自発的に協働しながら達成しようとしている状態」と言われています。つまり「目的の共有」「主体的・自発的」「協働」という三つが成し遂げられている組織を、いかにして作っていくかなのです。また、良い結果を出すためには、「組織力」を強くすることが必要です。それは、職員一人ひとりの「やる気、能力、方向性」の総和を最大化することで実現できるので、「動機付け、人材育成、ビジョン」の三つの浸透に最も注力して運営を進めてきました。具体的には、「ご褒美・勉強会・理念の反復」のタイミングを図りながら、公平性を保って継続的に実践しています。

これからは、この勢いを効果的につなぐ必要があり、更なる顧客指向の向上や安定化に向け、総合力アップが不可欠です。そのためには、人材が主な経営資源であるセンターにおいて、処遇がその基本となります。下図の成長イメージを達成するため、今後とも可能な範囲での改善が必要と考えています。



皆さんは、自分の会社の「企業風土」を解っていますか？ 全員の共通理解になっていますか？ それは“これから”の低成長社会においても継続的な成長を伺えるものですか？ などを意識的に考えてみては如何でしょうか。目先のことに囚われて、当面を繕うことで変わったつもりになっているのではなく、「企業風土」を変えて継続的な安定そして維持・拡大を確実なものにして下さい。

協同組合の目的が、設立当時とは違って多様化し不明確になる一方で、その役割・必要性はむしろ強まりつつあります。準公的機関として培った30数年の信頼と実績に加えて、品質向上と価格競争力、さらには人材育成による社会貢献が求められています。組合の活性化は、組合員・役員・センターの三位一体となった関係づくりであり、具体的には①センターの組織力強化 ②組合員との信頼関係構築 ③支援サービス事業の活性化 ④社会的地位や信頼向上のためのジオラボネットワークの連携強化、などです。

センターは、次世代を意識した「風土改革」を、これからも積極的に推進します。役職員が一丸となって意識改革に取り組むことによって、顧客指向の徹底を図り、経営の安定化と『三方よし』の実現に努めます。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

平成 27 年 2 月 25 日（水）15 時 00 分より、大阪キャッスルホテル会議室において、理事 9 名が出席して開催した。

定款の定めにより、高村理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
1 月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 1 月分事業報告の件
 - ① 試験実施状況報告
試験依頼件数 246 件、受注金額は 41,926 千円、請求金額は 40,163 千円、未試験金額、68,686 千円。
 - ② 収支実績報告
入金額 33,085 千円。
- 3) 組合規程類見直し状況報告の件
- 4) その他の件

【審議事項】

- 1) 平成 26 年度利益予想の件
- 2) 平成 26 年度剰余金処分（案）検討の件
- 3) 平成 26 年度組合職員期末手当・役員期末報酬支給検討の件
- 4) 平成 27 年度（第 36 期）収支予算（案）策定の件
- 5) 役員改選の件
- 6) その他の件
 - ①大阪府中央会「もの作り・商業・サービス革新補助金」申請の件

☆お知らせ☆

☆第 35 期通常総会開催

開催日時：平成 27 年 5 月 28 日（木）15:00 ～

開催場所：大阪キャッスルホテル

兵庫県の地すべり調査事例

川崎地質㈱ ○小山 純二

1. はじめに

当地区は兵庫県の北部に位置し、平成23年9月3日から4日にかけての台風12号の豪雨により地すべり災害が発生した。発生した地すべりは、A-1、A-2、B-1、B-2の4ブロックに区分された。図-1に地すべりブロック分布図を、写真-1～2に地すべりブロック内の変状写真を示す。

地すべりブロックの下部は完全に崩壊し、崩壊した土砂の一部は溪流を流下して下流域の集落に到達した。地すべりブロックの上部は段差を伴う亀裂が多数発生し、不安定土塊として斜面上に残留した。

地すべり変動を監視するために、地盤伸縮計を緊急的に6基設置した。4mm/時間以上の変位を記録すると、警報器により周辺住民へ通知するとともに、インターネットを介して担当者携帯電話へ警報メールを通知するシステムを構築した。また、地すべりの規模把握、対策工法検討のため、10箇所でボーリング調査を実施し、孔内傾斜計観測や地中歪計観測を実施した。

この地すべり災害に対する調査状況について報告する。

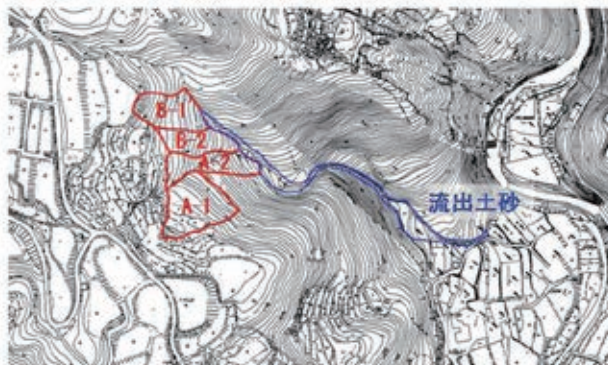


図-1 ブロック分布図



A-1ブロック下方の状況。露岩している。 B-1ブロック内の滑落崖

写真-2 変状写真(2)

2. 地形地質概要

本地区に分布する地質は、新第三紀中新統北但層群村岡累層を基盤とし、これを第四紀火山噴出物および崩積土層が被覆する。村岡累層は黒色頁岩を主体とし、凝灰岩および砂岩を挟在している。

本地区は標高350～450mであり、上部は10～15°の比較的緩やかな斜面地であるが、下部は約30°の斜面が河川まで連続している。

兵庫県には多くの地すべり地が分布しており、当該地域も大規模な地すべり(集水井による地下水排除工の効果で活動停止)の一部である(図-2)。

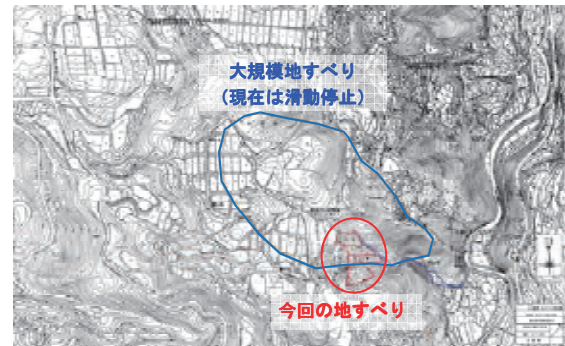
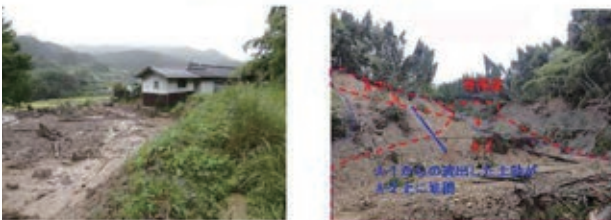


図-2 当該地すべり周辺の状況

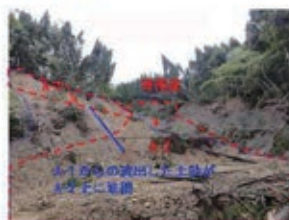
3. 調査結果

調査結果およびその後の変状状況から、以下の点が判明した。図-3、写真-3、図-4に、それぞれ代表的な地質推定断面図、コア写真(すべり面付近)、地中内変位観測結果図を示す。

- 地すべりブロック上部～中部では基盤岩がほぼ平坦に分布している。



流出土砂が民家の裏に達した。



A-2ブロック下方より撮影。



A-1ブロックの滑落崖

写真-1 変状写真(1)

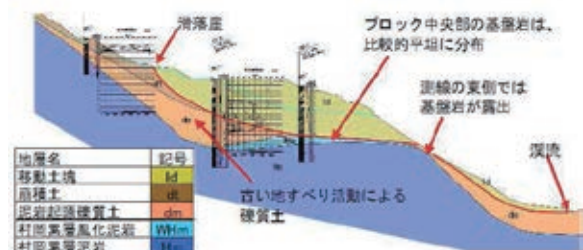


図-3 地質推定断面図(A-1)

- ・ コア写真および地中内変動結果から、基盤岩直上部に分布する礫混り粘土がすべり面を形成していることが判明した。
- ・ 基盤岩上部は、古い地すべり活動による粘土～礫・岩塊 (dm 層) が分布している箇所が多い。



写真-3 コア状況 (すべり面付近)

- ・ H23. 9. 20の台風15号による豪雨やそれ以降の降雨、融雪により地中変位 (図-4) が進行している。当地区の最大月降水量および最大日降水量は、それぞれ646mm (9月)、178mm (H23. 9. 3) であり、観測史上1位であった。また、最大積雪深は205mm (2月) であり、こちらも観測史上1位であった。

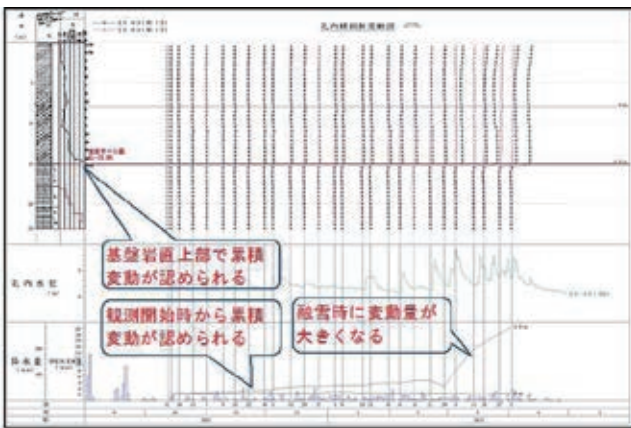


図-4 孔内傾斜計変動状況

4. 機構解析

当地区の地すべり発生機構は下記のように想定される。また、地すべりの発生順序を図-5に示す。

○ 素因

- ・ 第四紀堆積物が厚く堆積
- ・ 古い地すべり活動により基盤岩上面に作られた旧すべり面の存在

○ 誘因

- ・ 地下水上昇による過剰間隙水圧の発生
- ・ 溪流による末端部の侵食

○ 地すべり発生状況

- ① 9/2～9/3にかけての台風12号の豪雨により、末端侵食と間隙水圧の上昇が発生し A-2ブロックの地すべりが発生した。地すべり土塊はほとんど流出し、下流の民家付近まで達した。
- ② 側部の土塊 (A-2ブロック) が流出したこと、および、溪流の増水による末端部の侵食により、Bブロックの地すべりが発生した。当初はB-1とB-2ブロックは連動していたものと想定される。

- ③ A-2ブロックの土塊が移動したことにより、Aブロック下方が不安定化し、表層崩壊が発生した。
- ④ Aブロック下方の土塊が移動したことにより、A-1ブロックが不安定化し、A-1頭部の滑落崖が発生した。A-1ブロックは不安定土塊が厚く残る。
- ⑤ 9/20～9/21にかけての台風15号の豪雨により、B-2ブロック末端部の侵食が進行し、B-1とB-2ブロックを分断する開口亀裂が発生した。

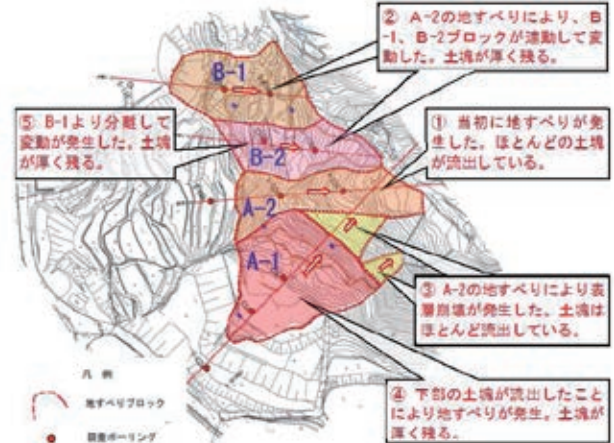


図-5 地すべり発生状況図

5. 対策工の検討

対策工の検討フローを図-6に示す。経済性、施工性を考慮して、第1案；地下水排除工+押え盛土工+鋼管杭工を提案した。

- ・ 対策工施工が完了するまでの間、地すべり土塊の流下を防止するため、溪流下部に仮設堰堤を検討した。
- ・ ブロック上方は地すべり地形が分布しているため、排土工は比較対象から除外した。
- ・ ブロック内で対策工を安全に施工するために、事前に地下水排除工を実施し、 $F_s \geq 1.0$ とした。

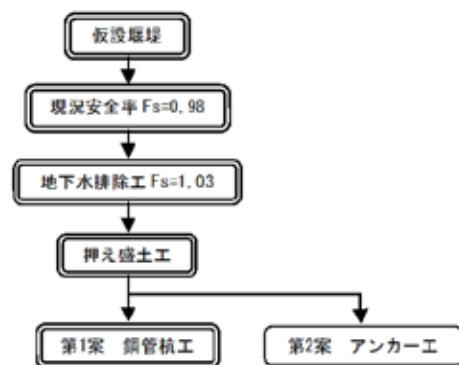


図-6 対策工検討フロー

6. おわりに

これまでの地質調査・地中内変動調査等により地すべり範囲の特定、地すべり機構等を把握することができた。

兵庫県の北部では、台風などの豪雨や融雪期に変動が発生することが多い。近年の降雨・降雪状況から、収束した地すべりの再発や、新規の地すべりが発生する可能性があるため、注意が必要と思われる。

事業継続計画(BCP)策定支援制度

BCP策定していますか?

BCP(事業継続計画)とは、潜在化している“脅威”による損失とその影響を事前(平常時)に分析し、その結果に応じた対策の検討と導入を行うことで、“脅威”が顕在化した際(緊急時)に事業継続を確実にするための各種の手順や情報を文書化した行動計画です。BCP(事業継続計画)を策定しておくことにより、緊急時に事業継続を阻む“負の連鎖”を断ち切ることができるようになります。



大阪府商工会連合会

事業を取り巻く様々な脅威



家畜伝染病



伝染病・感染症



自然災害



テロリズム



情報セキュリティ事故



サプライチェーンの途絶

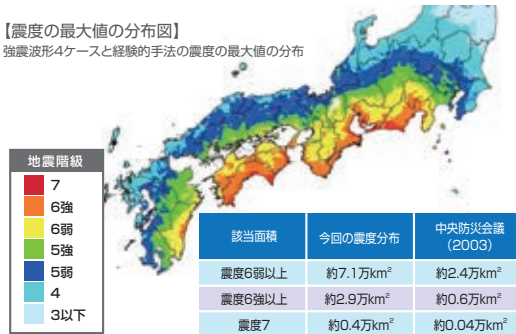
◆ 関西で懸念されている脅威【南海トラフ】

海溝型地震の長期評価の概要(算定基準日 平成27年(2015年)1月1日)
(海溝型地震の今後10,30,50年以内の地震発生確率)

領域または地震名	長期評価で予想した地震規模(マグニチュード)	地震発生確率			地震後経過率	平均発生間隔(上段) 最新発生時期(下段) (ポアソン過程を適用したものを除く)
		10年以内	30年以内	50年以内		
の南海トラフ	南海トラフ	M8~M9クラス	20%程度	70%程度	90%程度	0.78 次回までの標準的な値 88.2年 69.0年前

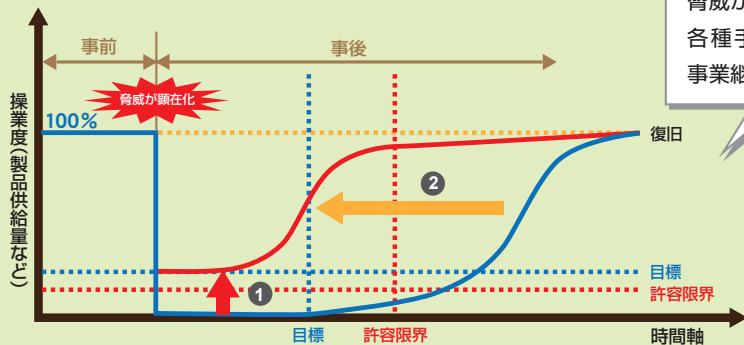
出典：文部科学省地震調査推進研究本部 / 活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧(2015年1月14日公表)

【震度の最大値の分布図】
強震波形4ケースと経験的手法の震度の最大値の分布



出典：内閣府南海トラフの巨大地震モデル検討会 / 南海トラフの巨大地震による津波・震度分布等(2012年8月29日公表)

◆ 事業継続計画(BCP)の策定による効果



脅威が顕在化しても、事前にBCPを策定し、各種手順及び対策を導入しておくことで、事業継続・復旧を果たすことができます。

- BCPを策定していない企業の復旧曲線
- BCPを策定している企業の復旧曲線

- 許容限界(操業度)以上での事業継続
- 許容限界(時間軸)以内での事業復旧

支援制度紹介

本制度はあくまで、自助努力に基づいた支援であり BCP 策定を代行するものではありません。



当会が発行した冊子「中小零細事業者用 事業継続計画 (BCP) 策定ガイドライン」を用い、BCP 策定の専門知識を持った経営指導員による事業継続計画 (BCP) 策定の支援を行います。

BCP 策定支援メニュー

A
コース

【簡易版】

事業継続計画 (BCP) 策定支援

2日 支援費用 無料

“地震”の発生に備え、従業員が被災時にまず実施しなければならない初動対応 (安全確認、安否確認、応急処置、救護・救助など)の確立に重点を置いた簡易版のBCP策定を支援致します。

※数名~20名規模の組織にお勧めのコースとなっております。

B
コース

事業継続計画 (BCP) 策定支援

4日 支援費用 30,000円 (税抜)

事業を取り巻く脅威とその脅威が発生したときの影響を事前に分析し、緊急事態に対処する為の組織体制 (情報収集、広報、予算管理など) や従業員が被災時にまず実施しなければならない初動対応 (安全確認、安否確認、応急処置、救護・救助など)の確立に重点を置いたBCP策定を支援致します。

※20名以上の規模の組織にお勧めのコースとなっております。

C
コース

事業継続計画 (BCP)

ブラッシュアップ支援

2日 支援費用 無料

策定済みのBCPをブラッシュアップ (内容の見直し、訓練の実施など) するための支援を致します。

※既にBCPを策定されている組織にお勧めのコースとなっております。

支援対象企業

支援対象企業は大阪府内に事業所がある“中小企業基本法で定義された中小企業”です。なお、経営支援 (コンサルティング) を生業としている企業は対象外です。

業種	資本金及び従業員
製造業・建設業・運輸業 ソフトウェア業 情報処理サービス業・その他	3億円以下、または300人以下
卸売業	1億円以下、または100人以下
サービス業	5000万円以下、または100人以下
小売業	5000万円以下、または50人以下

※その他の諸条件はお申し込み時にご説明致します。

自社が対象になるかどうか不明な場合はお問い合わせ下さい。

仮お申し込み

大阪府商工会連合会で支援の実施に関する審査を行わせて頂いておりますので、支援希望の方は、まず仮お申し込み (FAX、郵送、ウェブサイト) をお願い致します。

企業名			
住所			
担当者名	連絡先	電話:	
		メール:	
支援メニュー ご希望のコースをお選び下さい。	<input type="checkbox"/> Aコース:【簡易版】事業継続計画 (BCP) 策定支援 <input type="checkbox"/> Bコース:事業継続計画 (BCP) 策定支援 <input type="checkbox"/> Cコース:事業継続計画 (BCP) ブラッシュアップ支援		



大阪府商工会連合会 〒540-0029 大阪府大阪市中央区本町橋2番5号 マイドームおおさか6階

TEL:06-6947-4340 FAX:06-6947-4343 MAIL:info@osaka-sci-bcp.com (担当者:上田、中島)

事業継続計画 (BCP) 策定支援制度ウェブサイト <http://www.osaka-sci-bcp.com/>

ご活用を検討されては如何ですか？

センターが申請の支援をします

協同組合関西地盤環境研究センター

H 26 年度ものづくり補助金 担当

この補助金は、企業単独あるいは複数の共同体で申請が可能なものです。

H 26 年度補正予算で 1,020 億円計上されているものです。昨年度の実績では、大阪府関係で 2,000 社以上・採択率が 40% 程度で、補助金額（最大 1,000 万円）の割には比較的通りやすいものです。

われわれの仕事は、日常的に創意工夫をしながら進めていることも多いので、それを一気に一般化するチャンスと捉えて、前向きに検討いただければとご案内いたします。

センターとしては、「試験装置の試作」あるいは「試験データ作成ソフトの統一」などをキーワードに申請を検討しています。その関係で、関係機関への相談やセミナーへの参加などによる情報収集やノウハウがございました。申請をお考えの方は、ご相談ください。

なお、詳細については、以下の資料などをご参照下さい。

* 各府県中小企業団体中央会ホームページ

* 中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン（経済産業省ホームページ）



大阪府中小企業団体中央会は 事業革新を行う皆様を支援します！

平成26年度補正

ものづくり・商業・サービス革新補助金 第1次公募のご案内

【受付期間】

平成27年2月13日から **平成27年5月8日(金)**/当日消印有効

大阪府中央会では、中小企業庁の委託を受け、「平成26年度補正ものづくり・商業・サービス革新補助金」にかかる第1次公募を以下のとおり実施します。

事業の目的・概要

国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援します。

補助対象となる取り組み

	対象型	対象要件
1	革新的サービス	「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」で示された方法で行う革新的なサービスの創出等であること。(注1)
2	ものづくり技術	「中小ものづくり高度化法」に基づく特定ものづくり基盤技術を活用した画期的な試作品の開発や生産プロセスの革新であること。
3	共同設備投資	組合等が事業管理者となり、複数の企業が共同し、設備投資により、革新的な試作品開発等やプロセスの改善に取り組む計画であること。(注1)

注1：3～5年計画で、「付加価値額」年率3%及び「経常利益」年率1%の向上を達成出来る計画であること。
(共同設備投資では、事業実施企業全体)

対象型と補助上限額等

	対象型	補助上限額と補助率等	
		一般型	コンパクト型
1	革新的サービス	・補助上限額:1,000万円 ・設備投資が必要(注2)	・補助上限額:700万円 ・設備投資不可
2	ものづくり技術	・補助上限額:1,000万円 ・設備投資が必要(注2)	
3	共同設備投資	・補助上限額:共同体で5,000万円 ・企業は設備投資のみ(500万円/社) (事業管理者は「直接人件費」も計上可能)	

全対象型ともに
補助率2/3以内

注2：「試作開発+設備投資」と「設備投資のみ」の2種類があります。
「試作開発+設備投資」では、機械装置費以外の補助上限額は総額で500万円です。



■ 公募要領・申請様式は「大阪府中央会」のホームページをご覧ください。 <http://www.maido.or.jp/>
なお、申請書の受付は「郵送」のみとなりますので、ご注意ください。

＝ 申し込み・お問い合わせ先 ＝

大阪府中小企業団体中央会
ものづくり中小企業支援室

〒540-0029 大阪市中央区本町橋 2-5
マイドームおおさか 5階

TEL. **06-6947-4378**

FAX: 06-6947-4379

問合せ時間：10:00～12:00 13:00～17:00/月～金(祝日除く)

行事・講習会・資格試験等のご案内

(H27年3月17日現在)

主 催	開催日 開催地	名 称	募集内容	申込締切
関西地質調査業協会 http://www2.ocn.ne.jp/~kstisitu/		匠（優秀オペレータ）募集	募集	平成26年10月1日 ～平成27年3月31日
全国地質調査業協会連合会 http://www.zenchiren.or.jp/		『地質調査技士資格検定試験の試験コース統合』		全地連HPで確認
		全地連「技術フォーラム」2015 論文投稿受付	募集	4月13日
地盤工学会関西支部 http://www.jgskb.jp/	4月22日	平成27年度通常総会	総会	
		斜面動態モニタリングに基づく 斜面安定性評価」研究委員会の 委員公募	募集	3月31日
地盤工学会 https://www.jiban.or.jp/	3月30日 本部	地盤材料試験の技能評価と精度・ ばらつきの実態講習会	講習会	
	5月21日 本部	地盤工学における性能設計入門 講習会	講習会	
	9月1日～4日 北海道	第50回地盤工学研究発表会	発表会	
		シニア会員と若手の交流企画	講師募集	原則として 年齢60歳以上
土木学会関西支部 http://www.civilnet.or.jp/	5月13日	土木学会関西支部 第88回支部総会	総会	
	5月30日 摂南大学	関西支部年次学術講演会 (平成27年度)	講演会	
土木学会 http://www.jsce.or.jp/	4月7日 本部	「東日本大震災再考～困難課題の 克服と復興の加速に向けて～」 (第一報)	シンポジウム	
砂防学会 http://www.jsece.or.jp/indexj.html	5月20日～22日 栃木	平成27年度（公社）砂防学会定時 総会並びに研究発表会「栃木大会」	発表会	
日本建築学会近畿支部 http://kinki.aij.or.jp/	4月21日 大阪科学技術 センター	関西地方における液状化の被害と 最近の対策工法	報告会	
	6月27日～28日	2015年度日本建築学会近畿支部 研究発表会	発表会	
日本建築学会 http://www.aij.or.jp/	9月4日～6日 東海大学湘南 キャンパス	2015年度日本建築学会大会（関東） 学術講演会	論文募集	4月7日締切
日本応用地質学会 http://www.jseg.or.jp/index.html	6月12日	平成27年度 定時社員総会および シンポジウム	総会 シンポジウム	
公益社団法人農業農村工学会 http://www.jsidre.or.jp/	9月1日～3日 岡山大学	平成27年度 農業農村工学会 大会講演会	論文募集	3月1日～31日
日本地すべり学会関西支部 http://japan.landslide-soc.org/branch/kansai/	4月14日	シンポジウム 土砂災害が迫る中での避難支持・ 勧告	シンポジウム	

※内容の詳細については、ホームページ等でご確認願います。

こんな時代だから、 ちょっと心に残る良い話

今回は下記の内容にしてみました。「人を動かす人は、誰よりも自分が動いている」という内容を見つけました。お暇な時に一読してみてください。

(稲田 記)

『人を動かす人は、誰よりも自分が動いている』

ディール・カーネギーの言葉にもある、この「人を動かす」ということ。これは一見、難しそうに見えます。確かに、ただ単に人を動かそうと思ったら、かなり難しいと思います。

人は動かそうと思って動くものではないからです。人を動かすには、まず自分が動かなければなりません。他人が動きやすいように、いろいろとお膳立てを整えたり、動きたくなるような下地をつくる。

そして、ときには「こうすればいいんだ」という見本を見せる。

「あなたにもできるということを証明して見せるから、やってみて」という姿勢が大事です。そして、最後に、そうやってあれこれ動いている姿を見て、周りの人たちが「協力しようかな」と思ったら、それでやっと、自分が動くということの端っこに立てるといふものなのです。

こういう細かい気配りや心配りをせず、自らが率先して動くということもせず、ただ他人が自分に協力してくれるのを待っていたのでは、次の世代になっても、何も変わることはないでしょう。

野球の監督でも、政治家でも、会社の上司でも、椅子に座ってふんぞり返っている人に、本当の意味で人を動かすということは不可能です。

『人は、自分のために動いてくれる人のためにしか動かないからです。仮に動いてくれたとしても、それはその人のために動いているのではなく、自分のため、つまり、一応動いたという素振りを見せないと、後々大変だからです。』そんな物理的な動きでは、そこから何も生まれるはずがありません。

『まず自分がだれよりも動く。そうできる人が、人を動かし、そして時代をも動かすことができるのです。』

【参考文献】 <http://www.sanyokiki.co.jp/sanyo-1/soumuka/hanasi/hanasi10.html>

編集後記

4月になりました。当センターにもNEWFACEが増えました。追々、センターニュースにて紹介させていただきます。乞うご期待!!

皆さんは、京都にある六波羅蜜寺をご存知でしょうか?そこにはNHKの大河ドラマで「平清盛」の像があることで注目を集めるようになった場所みたいです。

平清盛の像を見たい方は別途拝観料を支払うと見る事が出来ます。出世の象徴として称えられる事も多いそうです。私は平清盛に興味がないので・・・

私の目的はこの六波羅蜜寺で300円払ってもらえるおみくじが欲しかったのと、銭洗い弁天にてお金を洗いたかったので行ってきました。

もともこのお寺は八本の手を持つ弁財天さんが祀られています。それぞれの手には弓・矢・刀・矛・斧・長杵・鉄輪・^{けんざく}絹索を持つ、力強い弁財天です。

ここの御寺で300円払ってもらえるおみくじは四柱推命をもとにしたおみくじなので、自分の生年月日を伝えてください。

その年の2月4日から次の年の2月3日までの1年間のおみくじになっています。

今年はおとなしく現状維持をせよと書かれていました・・・皆さんも興味がある方は行ってみてください。気晴らしになりますよ。特にお金を洗うのが面白かったです!

(稲田 記)

組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50 音順)

会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アスコ	(06)6444-1121	株式会社 白浜試錐	(0739)42-4728
株式会社 アテック吉村	(072)422-7032	株式会社 ソイルシステム	(06)6976-7788
株式会社 インテコ	(0742)30-5655	株式会社 ダイヤコンサルタント 関西支社	(06)6339-9141
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06)6397-3888	株式会社 タニガキ建工	(073)489-6200
株式会社 オキコ コーポレーション	(06)6881-1788	株式会社 地圏総合コンサルタント 大阪支店	(06)6223-0955
応用地質 株式会社 関西支社	(06)6885-6357	中央開発 株式会社 関西支社	(06)6386-3691
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06)7175-7700	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06)6160-1121
株式会社 関西土木技術センター	(075)641-3015	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06)6384-5321
株式会社 関西地質調査事務所	(072)279-6770	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072)265-2651
株式会社 基礎建設コンサルタント 大阪営業所	(088)642-5330	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06)6353-7900
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06)6536-1591	株式会社 日さく 大阪支店	(06)6318-0360
株式会社 キンキ地質センター	(075)611-5281	株式会社 日建設計シビル	(06)6229-6372
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06)6206-5700	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06)6351-0562
興亜開発 株式会社 関西支店	(072)250-3451	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06)6777-3517
株式会社 神戸調査設計	(078)975-3385	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742)36-0211
株式会社 興陽ボーリング	(06)6351-1590	阪神測建 株式会社	(078)360-8481
国際航業 株式会社 関西技術所	(06)6487-1111	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06)6392-7200
株式会社 国土地建	(0748)63-0680	双葉建設 株式会社	(0748)86-2616
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06)4803-2010	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(072)751-1659
株式会社 シマダ技術コンサルタント 大阪本社	(06)6392-5171	株式会社 ヨコタテック	(06)6877-2666
有限会社 ジオ・ロジック	(072)429-2623		

【賛助会員名簿】

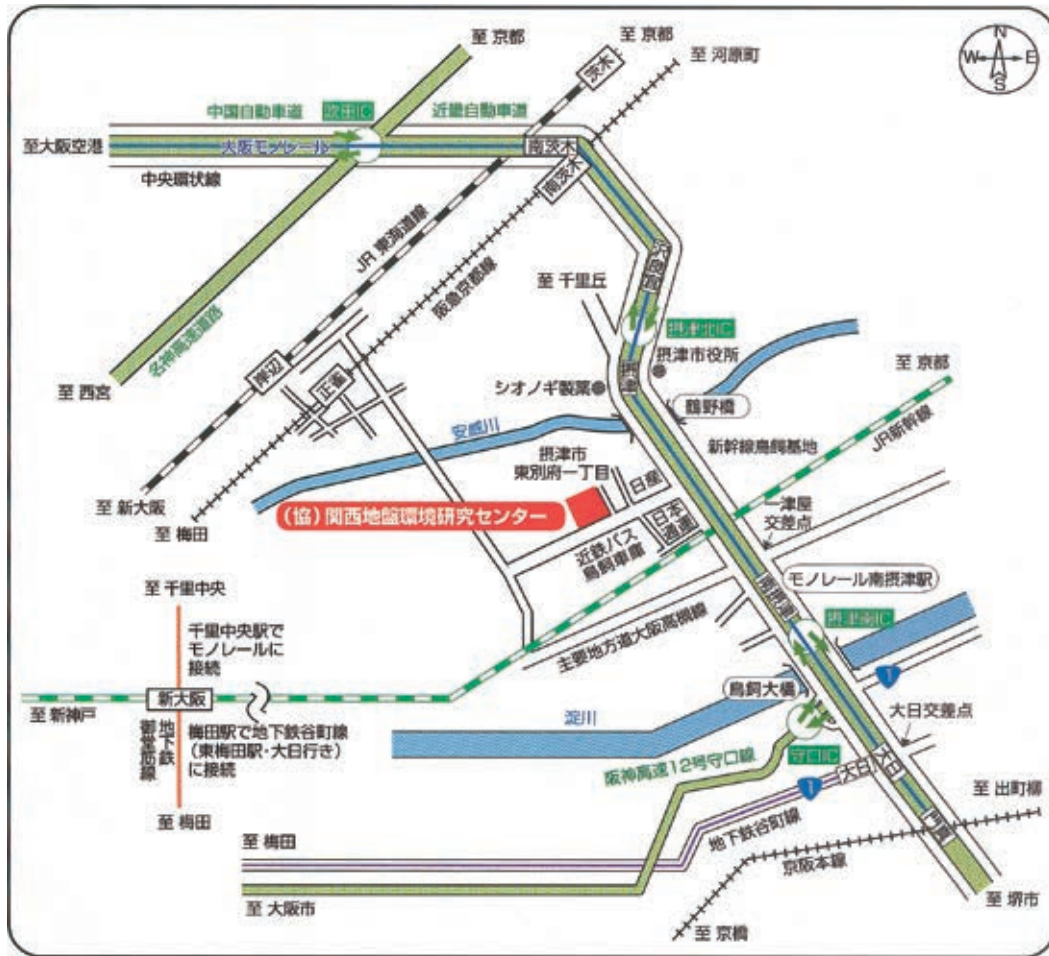
会社名	電話番号	会社名	電話番号
株式会社 アーステック東洋	(075)575-2233	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799)28-1074
株式会社 創研技術	(088)652-0077	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06)6384-9069
株式会社 ソルブレイン	(06)6981-3330	株式会社 メーサイ	(06)6190-3371

発行 協同組合 関西地盤環境研究センター
 〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
 TEL 06-6827-8833 (代)
 FAX 06-6829-2256
 e-mail tech@ks-dositu.or.jp

編集 情報化小委員会
 編集責任者 中山義久
 印刷



<http://www.ks-dositu.or.jp>



モノレール南摂津駅より徒歩約15分 JR岸辺駅よりタクシーで約10分 阪急正雀駅より徒歩で約25分



JAB
Testing
RTL02160
認定範囲
M25機械・物理試験
M25.21土質試験

ISO 9001



JTCCM
OSCA
RQ 0704
(登録範囲) <http://www.jtccm.or.jp/>



MS
JAB
CM015

協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<http://www.ks-dositu.or.jp>

ISO/IEC17025認定試験所(摂津試験所)

ISO9001認証取得

計量証明事業者登録(濃度)大阪府第10310号

環境省土壌汚染指定調査機関(環2003-1-99)